

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	入浴日は3名、それ以外の日は2名態勢などでホールでの見守りが手薄になりがちである。	お互いに居場所を伝えあい洗面所や風呂場、洗濯場などの死角に入る場合は声かけを密にする。	お互いに声を掛け合うことでリスクを軽減する。	継続続行
2	33	重度化、終末期について具体化されていない。	重度化、終末期について文章化し明確にする。	入居契約時に等ホームの重度化、終末期の対応について承諾を得る。	3ヶ月
3	34	入居者の急変や事故発生時に対して不安がある。	応急処置の実践力を身につける。	救急救命士を招いて講習を行いマニュアルを作成し定期的に訓練を行い一人ひとりの技術を向上させていく。	6ヶ月
4	34	高齢者や、超高齢者に対する感染症予防を徹底する。	インフルエンザ、ノロウイルスを出さない。	常日頃から、外出時食事前、トイレ後のうがい、手洗いを徹底することと職員自身も健康管理に留意する。それに伴って勉強会や研修会などにより感染予防に務める。	継続続行
5	35	夜間帯の災害対策について不安がある。	年1回の夜間災害想定の実践訓練を実施する。	災害発生時から、通報、緊急連絡を取り全員が集合してどう避難するか話し合いを持ち実践する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。